

「それでは行ってまいります
ふふっそのようなお顔なさらないでください
はじめての海外ライブ
しかも貴方様は国内で
どうしてもはずせないお仕事のこと
貴方様以外についていただくなんて
凜世とて不安はございます」



「ですが凜世は貴方様から様々なことを教わりました
あなたさまが育ててくださった凜世を信じて
笑顔で送り出してはくださいますか？
……ありがとうございます
これで凜世は胸を張って向かうことができます
貴方様が自身を持って
送り出してくださったアイドルだと……」

「プロデューサー様
ライブを終え凜世が貴方様の元に戻ったら……
そのときにお伝えしたいことがあります
どうか無理をなさらず
凜世のことを日本からご覧になってください」

「ただいま帰国いたしました♥
はあ出国前と雰囲気が変わってございますか？
男子三日会わざれば刮目して見よとの言葉もありましょう
凛世も存じ上げなかった世界に触れて
生まれ変わったのでございます♥」



「あんっ♡ プロデューサー様あ♡
もう撮影されていらっしやるので？
失礼いたしましたあ♡
はい♡ あの負け犬へのビデオレターでございますね♡
元プロデューサー様この方が気になりますか？
現地で凛世をプロデュースしてくださった殿方でございます♡」

「んっ……♡
少々♡ 好色な気はありますが……♡
手取り♡ 足取り♡ 腰取り♡
凛世の知らないことも教えてくださったのです♡
ベツドの上でも教えたこと♡
凛世のプロデューサー様はダーリンただ一人でございます♡
プロデューサー様のオチンポ♡
ものすごいのでございますよ♡」



「Yes♥Please♥fuck♥me♥
ぷんおっ♥ほっ♥おっ♥おっ♥
りんぜのっ♥デューサー様のっ♥オチンポっ♥
おっ♥んっ♥ろりきっおまんこっ♥いっぱいっ♥
Yes♥Yes♥Yes♥」

「おっ♥ほっ♥ほおおっ♥
クっ♥クるっ♥いらして♥
プロデューサー様のっ♥濃厚ザーメン♥
凛世の奥にっ♥おっ♥ほっ♥おっ♥
おおおおおんっ♥」

4111



「ああ……♡ 忘れるところでした……♡
負け犬様のプロデュースなさっていた
アイドルの何匹かでございますが……♡
プロデューサー様の熱心な《説得》の甲斐あって
凛世含めプロデューサー様のレーベルに
移籍することとなりましたことご報告いたします♡」

「凜世はあ♥これから……ダーリンと一緒に♥
業界のお偉方への
枕営業に伺う予定がありますので♥
その方々は業界でも性豪と有名とのこと♥
そちらのハメ撮りも……♥
お送りいたしますね負け犬様♥」















